

長岡市地域女性つながり支援事業【新潟県長岡市】

地域の実情と課題

本市では、労働人口減少による人手不足が続いてきたが、新型コロナウイルス感染拡大により令和2年1月から有効求人倍率が低下。同年4月に1.0倍を下回り、低倍率のまま推移している。

また、コロナ禍の影響が大きい産業の女性雇用者の割合は、「製造業」17.8%、「宿泊業・飲食サービス業」6.6%等であり、市内女性の就業環境も大きな影響を受けたと想定される。

市は、ハローワーク・マザーズコーナーと連携し、市内企業の就職説明会や再就職に関する相談会を開催し女性の就職を支援してきた。

目的・目標

社会とのつながりを失い、経済的な不安を抱え、孤独・孤立している女性に対し、相談対応、生理用品等生活必需品の提供、お互いに支えあう居場所づくりなどを通じて、社会とのつながりの回復に向けた支援を行う。

【目標と達成状況】

- ・ 相談件数2,580件（達成状況62件）
- ・ 生理用品等提供数8,600個（達成状況7,041パック）
- ・ 居場所づくりのイベント参加者150人（達成状況764人）

事業の特徴

市民活動団体とのネットワークを持つNPO法人市民協働ネットワーク長岡に業務を委託し、子ども食堂やフードバンクをはじめ、様々な団体と協力して事業を展開した。

また、受託者はイベント企画運営のノウハウを有しており、数多くのイベントを効果的に実施できた。

連携団体

女性活躍推進法に基づき設置した「長岡市女性活躍推進会議」の構成団体に事業の周知等の協力を得ながら実施した。

事業の効果

生理用品等の提供により経時的な不安を抱える女性を支援でき、「コロナ禍で生活が厳しいなか助かる」等、継続的な提供を希望する声が多かった。相談対応は件数は少なかったものの、どこに聞いていいかわからない、誰かに話を聞いてほしいという相談を受けることができた。居場所の提供では、目標人数を大幅に上回り、様々な活動で女性同士が交流することで、社会とのつながりの回復を支援できた。

今後の課題

生理用品等の提供は今後も提供方法を改善しながら継続する。相談対応はチラシ等を配布するほか、生理用品等の提供や居場所の提供の際に粘りよく周知していく必要がある。

居場所の提供は、参加者の反応が非常によかったことから、今後も様々な内容で実施を継続する。

支援人材の育成は、相談の状況や社会情勢に応じて、講座等の内容を検討する。

事業の概要

生理用品・マスクの提供

女性に生理用品及びマスクを提供した。相談につながるようチラシやカードを同封した。

- 市の窓口や社会福祉協議会など
1,105パック
- 学校（小・中・大学・専門学校）
3,074パック
- フードバンク 1,261パック
- イベント 823パック
- 子ども食堂 778パック
- 合計 7,041パック



<生理用品袋詰めの様子>

窓口では生理用品を渡した親子から「コロナ禍で生活が厳しいなか助かる」という言葉があった。学生からも「経済的に非常に助かる」「急に生理用品が必要になることもあるので、ありがたい」など継続的に提供を希望する声が多かった。

相談対応

専用電話回線を設け、平日・土曜日の日中に相談対応を行った。直接来館した方や、イベント会場での相談対応も行った。

- 「ハッピーエンドな人生のすすめ」
 - ・坂田行政書士「成年後見制度の学習」2人
 - ・黒田隆司弁護士「相談・遺言について」10人
 - ・大滝愛弓収納アドバイザー「お片付けですっきり生活」7人
- 女のスペースながおか出張相談会 8人
- 「春のわくわく広場」 1人
「どこに聞いていいかわからない」、「誰かに話を聞いてほしい」という相談を受けることができた。



<女のスペース・ながおか出張相談会>

女性がお互いに支えあうための居場所の提供

市内全域で女性が気軽に参加できる交流イベントや相談会を開催。

- 手しごとカフェ 6回 28人
- 和太鼓セラピー 24人
- ママの癒しサロン@ねんねこ
8回 24人
- コンサート「やさしい音のプレゼント」 313人
- 春のわくわく広場
「0円マーケット」
- 寺泊料理教室 14人



<手しごとカフェ>

様々な活動をしながらか参加者同士が交流することで、楽しい時間を提供できた。コロナ禍で仕事を失ったり、外出自粛のなかで、久しぶりの交流を喜ぶ声が多かった。

支援を行う人材の養成

公的機関の職員等を対象に研修や講座を行った。

- ゲートキーパー研修会 6人
 - 男女平等推進センターとの情報交換会 3人
 - 全国遺贈寄附講座（オンライン） 3人
 - 成年後見制度 1人
 - ゲートキーパー入門講座 1人 <男女平等推進センターとの情報交換会>
 - 相談・遺言について 2人
- 専門家の話を聞くことで、相談対応などの支援に必要な知識を習得できた。

